

羅臼湖歩道に係る検討の進め方について

1. 平成23年度は地元関係団体との現地踏査により、付け替えルートの選定を実施する（6月から8月を中心に踏査を実施）。
2. 歩道の付け替え・再整備、維持管理体制、アクセス等について引き続き検討を進める。

1. 2011年度のスケジュール

- 6月頃 関係団体との現地踏査の開始（8月頃まで、月2回程度）
- 7月頃 第1回羅臼湖部会の開催
→現地踏査の中間報告と付け替えルート（案）の検討
- 8月頃 付け替えルート（案）の絞り込み、植生調査や専門家へのヒアリングの実施
- 9月頃 第2回羅臼湖部会の開催
→付け替えルート（案）の承認
- 9月頃 一部付け替えルートの開設（根釧東部森林管理署）
- 9月頃 2の沼階段部分での植生復元のための試験施工（釧路自然環境事務所）
- 10月以降 維持管理体制やアクセス等のその他の検討課題を羅臼湖部会にて検討

2. 現地踏査の進め方

- 羅臼湖部会の構成員に幅広く声かけし、希望者には参加してもらおうが、参加者は今後羅臼湖において何らかの役割を担う意思がある者とする。
- 斜里側のガイド事業者については、あくまでもガイド協議会を通じてご参加いただく。
- 現地踏査での意見を踏まえ、最終的なルート決定を羅臼湖部会で行う。

3. 専門家による助言

- 羅臼湖部会および現地踏査へは、適正利用・エコツーリズム検討会議の小林委員にオブザーバーとしてご参加いただき、アドバイスをいただく。
- 付け替えルート（案）の植生調査は知床博物館の内田学芸員および羅臼町在住の浅沼氏に、付け替えルート（案）の選定や植生復元等については北海学園大学の佐藤教授に、それぞれご協力いただく予定。

4. 付け替えルート検討にあたっての基本的な考え方

- 希少な植生に影響を及ぼさないルートにする。
- 羅臼湖地域の魅力を伝えられるルートにする。
- 木道等が少なくてすむルートにする。
- 関係者の十分な協議により検討を進める。